



2023年2月16日

各位

会社名 株式会社 enish
住所 東京都港区六本木六丁目1番20号
代表者名 代表取締役社長 安徳孝平
(コード番号: 3667)
問い合わせ先 取締役執行役員管理本部長 高木和成
TEL.03 (6447) 4020

「De:Lithe Φ (ディライズ ファイ)」の開発に関する 現状と当社の認識について

2023年2月15日に、当社が「De:Lithe Φ (ディライズ ファイ)」(以下「本ゲーム」といいます。)の開発を受託している株式会社HashPalette (以下「HP社」といいます。)より、「De:Lithe Φ プロジェクトに関するご報告と対応について」及び「De:Lithe Φ プロジェクトに関する追加のご報告について」(以下「本開示」と総称します。)が開示されておりますが、本開示には当社の認識と異なる記載が含まれております。

1. 本ゲームの開発に関する HP 社との交渉経緯について

当社は、2022年6月1日付「De:Lithe×GameFi プロジェクト『De:Lithe Φ (ディライズファイ)』の取り組み変更に関するお知らせ」(以下「2022年6月開示」といいます。)のとおり、2022年2月2日付で公表した本ゲームに関する当初の取り組みに係る体制・スケジュールを見直した上で、新たにパブリッシャーとなった HP 社から本ゲームの開発を受託しました。しかし、2022年6月開示の時点では、本ゲームのロードマップやリリース時期等は確定しておらず、当社は、それらに加えて本ゲームの開発条件についても一貫して HP 社との間で協議をしてまいりました。

このため、現在に至るまで、当社と HP 社との間に本ゲームの製品版について合意した納品期限は存在せず、当社は、2022年6月以降本日に至るまで本ゲームの製品版の納品義務を負っておりませんので、当社による納品期限の徒過はございません。

当社としては、出来るだけ早期の本ゲームのリリースに向けて、HP 社との間で本ゲームの開発に関する話し合いを続けました。2023年2月15日に、当社に何らの事前連絡なく HP 社により本開示がされたことは、極めて遺憾です。

2. 本開示に対する当社の認識について

本開示には、本ゲームの開発に大幅な遅延の可能性が生じている旨の記載がございます。しかし、上記1のとおり、本ゲームの開発条件等については HP 社との協議が継続しておりました。現在に至るまで諸条件について折り合いがつかないため、開発条件等について両社間で合意が成立していない状況にありますが、それは当社による開発の遅滞を理由とするものではありません。よって、開発自体が遅延しているかのごとき当該記載は事実と反しております。

また、本開示には、HP 社が「数億円単位」の開発費用の前払いをしたとの記載がございますが、当社がこれまでに受領しております金額は開発費用の一部である1億6,000万円(税別)にとどまり、「数億円単位」に上るものではありません。

さらに、本開示には、本ゲームの「製品版の納品期限」なる時点から1か月以上が経過した現時点においてもなお、当社からいかなる納品物も納品されていないとの記載がございますが、上記1のとおり、現在に至るまで、当社とHP社との間に本ゲームの製品版について合意した納品期限は存在しませんので、当該記載も事実と反するものです。当社とHP社との間で締結された本ゲームの開発に関する2022年6月13日付業務委託契約書においては、本ゲームの製品版の納品期限を「2022年12月末予定」とする記載がございますが、この「予定」との文言は、当該契約締結時点において本ゲームの開発スケジュールが確定していなかったことから、納品期限については後日協議の上別途合意することを前提として記載されたものです。実際、当社とHP社との間において、本ゲームの開発スケジュールも含めた契約条件について一貫して協議を続けていたものであり、当該協議においてHP社の要求を当社が応諾しなかったところ、HP社において、2022年12月になり、突如、同月末が当社の製品版の納品期限であるとの主張を開始した上、その後も両社間で合意に至らない中、一方的に本開示に至ったものであり、HP社の一連の対応は極めて不誠実であると考えております。

3. 今後について

上記のとおり、HP社が当社との協議を一方的に打ち切り、本開示を相次いで行ったことから、当社としては、HP社との間で進めてきた本ゲームに関する取り組みを継続することは困難であると考えております。

しかしながら、当社は、トークンエコノミーやNFTといった機能を搭載したブロックチェーンゲームの魅力及び可能性に期待をしておりますので、当社の大ヒットゲームタイトルである『De:Lithe』のゲームシステムをベースにした「Play to Earn」モデルのブロックチェーンゲームの開発・提供に向けての取り組みは、今後も継続してまいります。

関係者の皆様方にはご心配をお掛けしておりますこととお詫び申し上げるとともに、今後、かかる取り組みについて重要な進捗が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

また、本件に関する前期実績（2022年12月期）又は当期（2023年12月期）に与える影響については、現時点で確定した事実はありませんが、重要な影響を与える見込みが生じた場合には、確定後速やかに開示いたします。

以 上